

公開授業 学習構想案（略案） 小 3 年

授業者 大中 陽子 学校名 あさぎり町立岡原小学校

題材名 クリスタル・シング

題材の目標

- (1) 透明な材料、接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペン等についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせて表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことができる。
- (2) 形や色の感じ、それらの組み合わせによる感じ等をもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、どのように表すかについて考えることができる。
- (3) 材料の組み合わせで光の感じが変わる面白さを味わいながら、進んで活動に楽しく取り組み、つくり出す喜びを味わうことができる。

題材終了時の児童・生徒（題材のゴールの姿・期待される姿）

- 想像したことを立体に表したいときに形や色、用具を選んで表現し、つくり出す喜びを味わって活動しようとする児童

題材を通した学習課題
（題材の中心的な学習課題）

題材で働かせる見方・考え方

- どうくつの中でうつくしくかがやく、世界に1つだけの「クリスタル・シング」をつくろう。

- 感性や想像力を働かせ、材料にふれたり形や色などの感じについて考えたりしながら自分の表したいことに向かい、新しい意味や価値をつくり出すこと。

指導計画と評価計画（5時間取扱い 本時2 / 5）

過程	時間	学習活動	評価の観点等
1次	1	○自分のつくりたい物をイメージし、どのような材料を集めたらよいか考える。	【主】光を通した時の材料の美しさを味わい、学習活動に進んで取り組もうとしている。
2次	3	○さまざまな材料を組み合わせ作りたい物を考える。 ○組み合わせた材料を光にあて、試しながら形や色の組み合わせを工夫してつくる。	【思】光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。 【知】光や影を意識して材料の形や色を試したり、作り方を考えたりして表し方を工夫して表している。
3次	1	○自分の作品を暗くした場所に置き、ライトで照らして見て、自分や友だちの作品の良さや美しさを味わう。	【思】光を通した材料の形や色に着目し、作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。

研究テーマとの関連

- 【研究の視点①】 題材導入時に、宝探しをする子供たちが洞窟の中で美しく光る面白い物を見つける、という物語を聞いた後、光を通すさまざまな材料に出会い、その組み合わせや光の感じを試すことでわくわくした気持ちを持つことができるようにする。
- 【研究の視点②】 展開時では明暗の場をつくり、光の通し方や見え方を試す時間と場を設け、自分や友達の作品を見たり比べたり見直したりしてアイデアを構想できるようにする。
- 【研究の視点③】 ふり返りの視点を明示して、自分の思いと向き合うことができるようにする。

本時の学習

【本時の目標】

- 光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したいことを思いつき、どのように表すか考える。

過程時間	学習活動	指導上の留意事項	備考
導入 5分	1 本時の活動の見通しをもつ。	○透明な容器の切り方・着け方・扱い方について確認する。	シート 電子黒板
展開 30分	2 透明な容器や材料とライトを使って、自分だけのクリスタル・シングをつくる。	○いろいろな材料を試せるように材料コーナーを設置する。 ○明暗分かれた場所を用意し、いつでも自由に試せるようにする。 ○自由な発想でつくることができるように、つぶやきを拾ったり、共感的な言葉かけをしたり質問で考えを引き出したりする。 ○作品を見合って、気づきを伝え合う時間を設け、困り事の解決や、新たな発想につながるようにする。 【具体の評価規準】形や色などを生かして組み合わせながら、どのように表すか考えている。【思】(観察・シート)	材料コーナー 段ボール箱 ライト
まとめ 10分	3 ふり返りをする。	○ふり返りの視点を伝える。 ・○○するとおもしろい ・○○するとできた ・思ったことや考えたこと ・次の時間にやってみたいこと	シート 視点を書いた掲示物